

# くしろ



視察研修（視察先農場と意見交換）



視察研修（農場見学）



新規就農者に助言する指導農業士



研修会には標茶町農業ゼミナール生も参加

## 釧路北部地区指導農業士・農業士会

当会は、弟子屈町と標茶町の指導農業士・農業士で組織され（会員38名）、研修会による自己研鑽や各地域の担い手育成に対する助言などを行っています。また、研修生や農業大学校生の農家実習も積極的に受け入れています。

本年度の現地研修会では、新規就農者や標茶町農業ゼミナール生も招いて実施しました。先輩農家としての的確な助言がとても参考になると好評でした。

担い手育成が重要といわれている昨今において、より一層の活躍が期待されています。

	所在地	電話・FAX	Eメールアドレス
釧路農業改良 普及センター本所	〒088-2313 川上郡標茶町常盤8丁目5番地	Tel:015-485-2514 Fax:015-485-2249	kusirokita-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路東部支所	〒088-1365 厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地	Tel:0153-65-2021 Fax:0153-65-2037	kushiroto-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路中西部支所	〒084-0917 釧路市大楽毛127番地	Tel:0154-57-8306 Fax:0154-57-4702	kushirochu-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp

ホームページアドレス: <http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

乾乳期管理を成功させることは、牛を健康に保ち、分娩前後の事故の減少や受胎率の向上など、生産性アップにつながります。

A農場は、乾乳期の過肥牛が多く死産割合が高かったことから、泌乳期の栄養管理と乾乳期の飼養方法の改善に取り組みました。搾乳牛の給与飼料は1群管理で、乳量設定が36kg/頭・日のTMRを給与しており、泌乳後期群にはエネルギー過剰の状態でした。



図1 BCSの推移

そこでTMRの乳量設定を見直し、エネルギー濃度を改善したところ、泌乳後期牛のボディコンディションスコア(以下BCS)は乳量を落とさず平均で3.77から3.51まで改善され、分娩時BCS目標値(3.00~3.50)に近づけることができました。また、乾乳前期牛はBCS維持のため放牧地を利用し、BCSの変動を少なくすることができました(図1)。

4月から取り組んだ結果、子牛の死産頭数割合は平成30年度と比較して、11月までで6.1ポイント減少しました(表1)。

今後も乾乳期管理の改善に取り組んでいきます。

表1 死産頭数割合の推移

	分娩頭数(頭)	死産頭数(頭)	死産割合(%)
H29(4-3月)	228	22	10.1
H30(4-3月)	255	30	11.8
R1(4-11月)	158	9	5.7

弟子屈町の若手農業者と農協職員等で組織される弟子屈町4Hクラブは、昭和23年に設立され、令和元年で創立70周年を迎えました。

これを記念し、令和元年11月20日に、摩周湖農協3階大ホールにて記念式典を開催しました。クラブ員や事務局である弟子屈町役場の担当者と準備を進め、当日は元クラブ員や関係機関の方々、約50名が参加しました。



式典実行委員の集合写真



郷司会長 挨拶の様子

参加者には記念誌と記念品のタオルが配布されました。祝賀会では過去のクラブ活動や元クラブ員の懐かしい写真を使用したスライドが上映され、笑い声が聞こえる場面もありました。

今回の創立記念式典は、クラブ員にとって良い思い出になったと思います。今後も視察研修や勉強会などを通し、より活発に活動していく事を期待します。

## 推進事項の紹介

## 普及センターのホームページ紹介

普及センターではホームページで様々な情報を発信しています。「技術情報」と日々の普及活動を伝える「活動トピックス記事」を主体に、「普及活動計画書・実績書」や「担い手組織」、「クリーン農業組織」等の紹介など充実した内容です。

特に「技術情報」は毎月、各本支所で農協だより向けに作成した資料を掲載しており、「乳牛飼養管理」「乳質・衛生対策」「ほ育・育成牛管理」「粗飼料生産」「農作業安全」の項目



トップページ

別に整理した資料（平成25年～）を蓄積しています。それらはHPにアクセスするだけで見ることができるので、農業者の方はぜひ活用してください。

災害対策の情報も掲載しており、釧路地域農業技術支援会議で令和元年5月に作成し、釧路管内755戸の酪農家に配布した「大地震に備える酪農継続のための危機管理対策」のマニュアルも閲覧、ダウンロードできます。

また、過去に作成した災害対策の情報も掲載しています。

普及センターのホームページは農業者の方に役立つ情報が沢山あります。見たことがない方は是非一度アクセスしてみてください。そして、「お気に入り」への登録をお願いします。

普及センター  
ホームページ

QRコード



## 推進事項の紹介

## 酪農家から高付加価値活動を研修

令和元年11月8日、標茶町で高付加価値化と地域活性化の先進的事例を学ぶことを目的に「農畜産物活用研修ファームバリューアップ講座」を開催しました。

講師は広尾町で新規就農した菊地ファーム菊地亜希さんです。菊地ファームは平成30年から牛乳やアイスクリームの加工販売と農場カフェを運営しています。そこに至る経過や酪農をもっと身近にしたい思いで行う酪農教育ファーム活動や地域と連携した取組を講演いただきました。

意見交換では参加者から開業のタイミングや関係機関の支援、酪農体験活動等の質疑が次々と出されました。「反省点が聞けて参考になった」「思いを叶える行動力が素晴らしい」との声も聞かれています。「思いは叶う」と題した菊地さんの講演から、それぞれの目指す付加価値活動へのヒントとイメージを得ることができました。

普及センターでは高付加価値化を目指す農業者への活動支援を行っていきます。



農業者と関係機関が高付加価値化を学ぶ



講師への質疑で取組理解を深める

# カウトレーナ前後調整で牛床を快適に！ (厚岸町)

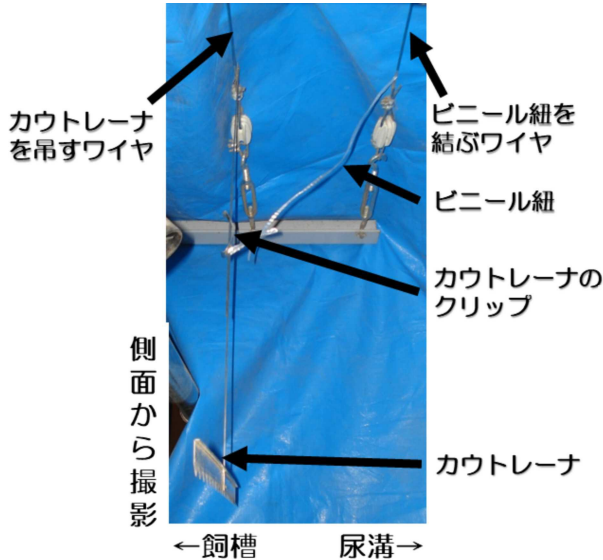
牛の排泄場所をコントロールするカウトレーナ。牛のサイズに合わせた調整が必要で、上下はクリップや鎖で容易に調整できますが、前後の調整が困難でした。

今回は、昨夏、厚岸町内の酪農家と取り組んだカウトレーナの前後移動を容易にする方法を紹介します。

## (1) 設置方法

ミルカーレールやパイプラインを避けるとカウトレーナを吊すワイヤが牛床から2.3mも高くなってしまいました。手に届く高さで調整したいとこの方法を考えました。

- ①カウトレーナを吊すワイヤに平行して30cm尿溝側にワイヤをはる。
- ②カウトレーナを飼槽側のワイヤに付ける。
- ③ビニール紐を尿溝側のワイヤに結ぶ。
- ④ビニール紐をカウトレーナのクリップの下側に緩めに結ぶ(下写真を参照)。

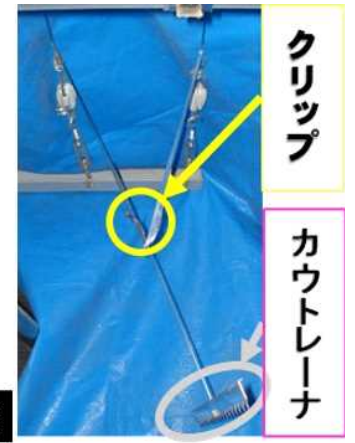
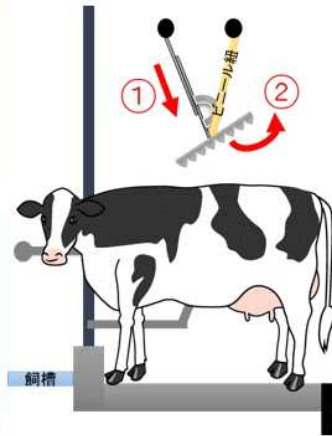
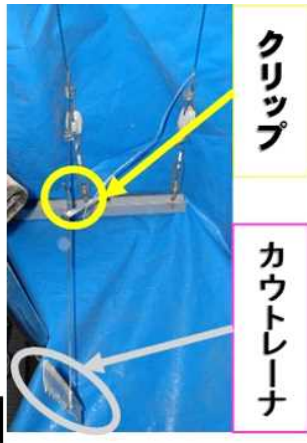
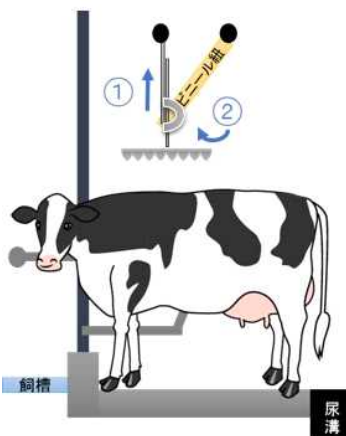


## (2) 調整方法

クリップの位置を上下させ、ビニール紐を張ったり、緩めたりして調整します。

<前に調整するとき>

<後ろに調整するとき>



- ①クリップを上を動かす。
- ②紐が緩み、カウトレーナが前に行く。

- ①クリップを下を動かす。
- ②紐が張り、カウトレーナが後ろに引っ張られる。

## 結 果



調整前



調整後

カウトレーナの調整が、上下・前後ともクリップの位置(牛床から2m程度)ででき、楽になりました。

前後の調整をする前は、乳房の前まで汚す牛がいましたが、調整し始めてからは、ほぼいません。

